

県立大学ではスマート農業を伝え広げる人材を育成しています

県立大学が社会人向け教育プログラム「スマート農業指導士育成プログラム」を令和4年度より提供開始。プログラム修了生をスマート農業指導士（県立大学独自の認定資格）として認定し、これまでに49名の指導士を輩出しています。



Q1

スマート農業指導士とは？

専門の知識や技能を有し、スマート農業を実践しようとする農業者を支援する人材。スマート農業技術をツールとした生産改善、経営改善を提案できるコンサル的なスキルも備えているのが特徴です。農業従事者、農協や県・市町村の職員、農業関連会社の社員、農業科の高校教員など多様な顔ぶれがスマート農業指導士として輩出されています。

Q2

資格取得までに必要な期間は？

資格取得までに必要な期間は約1年（オリエンテーション期間を含む）。受講者はオンラインならびに秋田県立大学アグリノベーション教育研究センターでの授業や演習を受け、最終課題としてスマート農業普及活動計画を作成します。募集対象は農業従事者、農業関連事業従事者、農業関連団体職員または地方公務員で、毎年3月に県立大学ウェブサイトにて募集要項を公表しています（履修資格・要件あり）。



ロボット農機の基本原理やその特徴を学ぶ操作体験演習



AIによる農作物の収量予測と成熟度判定に関する演習



最終課題のスマート農業普及活動計画の作成ガイダンス

スマート農業指導士が県内各地に輩出されることで、農業生産現場におけるサポート体制が充実し、スマート農業技術が導入しやすくなります。スマート化によって農作業の効率化・省力化や、農産物の品質・収量の向上が進み、農業経営の改善が図られることが期待されています。生産現場に技術をつなぐ活動を通して、日本の食料供給を担う本県農業の成長産業化に貢献していきます。



受講生全員がドローンの操縦体験をする農業用ドローン演習

農家の
経営改善に
期待！



スマート農業指導士育成プログラムに関する問い合わせ先

秋田県立大学 研究・地域貢献本部 地域連携・研究推進チーム

TEL 018-872-1557 FAX 018-872-1673

E-mail aic_koufukin@akita-pu.ac.jp

プログラムについてはこちら▶

